

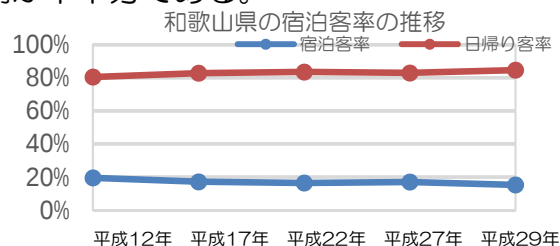
Point

地産地消をコンセプトにした地産地消レストラン、農産物を豊富に扱う農産物直売所、安心して参加できる農家指導による体験農園を整備し、地域の活性化を図る。

地域の課題

関西圏に位置する和歌山市は利便性も良く、近年インバウンド観光客も急増している。本活性化計画のエリアとなる東山東及び西山東地区は、地区の90%以上を農地で占める農村地域である。地区内では、果樹、タケノコ、野菜など幅広い農業を展開しており、経験豊かな農家が多く、収穫体験なども行っている。

しかし、観光客の滞在時間は短く、20年間の宿泊客率はほとんど変わらず、日帰り客が大半である。また、農泊やインバウンド観光客の受入など経験が少なく、地域の受入体制が不十分である。



位置図



活性化計画

交流人口 16,000人増、農泊者 200人増

地域産物の販売額 105,600千円増、雇用者数 30人増



農産物直売所



体験農園



地産地消レストラン

地域の課題を解決するため、農産物直売所、地産地消レストラン、体験農園を整備し、地域の農泊受入体制を強化する。

市と地域協議会が一体となり空き家等を活用した地域の農泊促進への取り組みを併せて実施

農泊をビジネス化し、地元産品の消費拡大を図り、交流人口の増加を促進する。

交付金事業内容

事業期間：H30年から2年間（予定）

事業費：418,714千円（国費209,357千円）

事業目標：交流人口の増加（1,834人⇒16,000人増）

地域産物の販売額の増加

（13,692千円⇒105,600千円増）

事業主体：和歌山市

事業内容：地産地消レストラン 1棟 450㎡、

農産物直売所250㎡、体験農園 約4,000㎡

